

# 野菜と果物ガイド



2017 / 10



丸果札幌青果株式会社

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
ながねぎ	上	127	359		北海道	99	B	保合	渡島・空知・胆振地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況は渡島、胆振地区は台風18号の影響で倒伏の被害があるものの他地区は順調に生育。 入荷量は前年並を見込む。
	中	165	300						
	下	146	292						
	月計	438	314						
					その他	1			
ほうれんそう	上	46	710		北海道	99	B	保合	渡島・胆振・檜山・石狩地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況は天候良く生育順調、平年並の入荷を見込む。
	中	50	681						
	下	47	736						
	月計	143	708						
					その他	1			
にら	上	10	1,064		高知	47	A	保合	府県産は高知産主力の入荷。 作付は平年並。 作況は天候も良く生育順調で、入荷量は前年並を見込む。 北海道産は渡島地区主力の入荷。 作付はやや減反。作況は気温も低くなり、生育にやや遅れが見られる。 入荷量はやや減少する見込み。
	中	12	1,116		北海道	43	C	強保	
	下	15	1,267						
	月計	37	1,163						
					その他	10			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
セ ル リ ー	上	11	301		北海道	87	C	保合	<p>網走・胆振地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。</p> <p>網走地区の作況は2L、L中心。入荷量は10月上旬から中旬にかけ数量減少。 胆振地区の作況はL&gt;M中心。10月中旬から下旬にかけ、抑制物入荷予定。</p>
	中	18	281		アメリカ	10	-	-	
	下	12	312						
	月計	41	295						
					その他	3			
ブ ロ ッ コ リ ー	上	44	777		北海道	100	C	保合	<p>石狩・胆振・十勝地区中心の入荷。 作付は石狩・胆振地区は前年並、十勝地区は前年よりやや増反。</p> <p>各地区とも20玉中心の入荷。 石狩地区は10月中旬から下旬にかけピークを迎える。 胆振地区は10月中旬より数量減少。十勝地区は10月一杯の入荷予定。</p>
	中	51	609						
	下	32	485						
	月計	127	636						
					その他				
レ タ ス	上	186	630		北海道	88	C	弱保	<p>北海道産は石狩地区主力の入荷。 作付は前年並。10月一杯まで定植済み。</p> <p>寒さ次第だが、中旬ごろまで安定した入荷を見込む。 府県産は茨城産の入荷。</p> <p>作況は前年より前進傾向。北海道産の入荷次第だが10月中旬ごろより 入荷開始予定。</p>
	中	194	235		茨城	12	A	弱保	
	下	140	222						
	月計	520	373						
					その他				
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き				10月の産地状況と概況見通し				
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
だ い こ ん	上	220	106		北海道	99	B	弱保	石狩・上川・十勝地区中心の入荷。 作付は各地区とも平年並。 作況は各地区とも台風被害の影響を受けた前年と違い概ね順調に生育。 入荷量は平年並を見込む。
	中	373	108						
	下	468	113						
	月計	1,061	110						
					その他	1			
か ぶ	上	25	145		北海道	97	B	保合	桧山・石狩・渡島地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況は概ね順調に生育、入荷量は前年並を見込む。
	中	33	175						
	下	64	157						
	月計	122	159						
					その他	3			
は く さ い	上	274	121		北海道	99	B	弱	空知地区主力の入荷。 作付は前年並。 作況は順調に生育。入荷量は前年は少なかったが、平年並の入荷を見込む。
	中	387	106						
	下	426	111						
	月計	1,087	112						
					その他	1			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
キ ヤ ベ ツ	上	274	111		北海道	98	B	弱	空知・胆振・上川地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況は生育順調で、入荷量は平年並を見込む。
	中	454	120						
	下	596	152						
	月計	1,324	133						
					その他	2			
ば れ い し よ	上	747	115		北海道	100	B	保合	石狩・空知・胆振・後志・十勝地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況は概ね順調な生育。傾向としては玉つきは良いが小玉傾向で豊作基調。 入荷量は前年より増加を見込む。
	中	886	119						
	下	558	124						
	月計	2,191	119						
					その他				
た ま ね ぎ	上	523	64		北海道	100	B	保合	石狩・空知地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況は地域により格差はあるが札幌近郊は6月の降雨と7月の高温により生育悪く 小玉傾向。北見、上川地区は概ね順調。 入荷量は前年並を見込む。
	中	712	60						
	下	594	56						
	月計	1,829	60						
					その他				
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き				10月の産地状況と概況見通し			
	旬別	入荷量	単価	産地	構成比	出荷現況	価格見通	
にんじん	上	169	181	北海道	97	B	保合	<p>石狩・網走地区中心の入荷。            作付は石狩地区は前年並、網走地区はやや増反。            作況は前年のような大きな被害はなく、概ね順調。価格安から収穫作業が遅れている地域もあり品質低下が懸念される。            入荷量は前年より増加を見込む。</p>
	中	430	139					
	下	445	139					
	月計	1,044	146					
				その他	3			
ごぼう	上	48	204	北海道	98	B	弱保	<p>十勝・胆振地区中心の入荷。            作付は各地区とも前年並。            作況は生育期の天候に恵まれ、順調な入荷予定。2L、L中心の入荷予定。            入荷量は前年より増加する見込み。</p>
	中	95	207					
	下	73	215					
	月計	216	209					
				その他	2			
ながいも	上	29	404	北海道	100	C	保合	<p>十勝・後志地区中心の入荷。            作付は各地区とも前年並。            作況は生育期の天候不順により正品が少なく、L中心の入荷見込み。            入荷量は前年より減少する見込み。</p>
	中	41	435					
	下	34	425					
	月計	104	423					
				その他				
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)				
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
かぼちや	上	108	117		北海道	100	B	保合	石狩・空知・上川地区中心の入荷。 作付は前年よりやや増反。 作況は生育時の低温等の影響を受け、やや小玉傾向。 入荷量は前年より増だが、平年並またはやや少ない見込み。
	中	204	128						
	下	151	155						
	月計	463	134						
					その他				
かんしょ	上	51	193		茨城	98	B	保合	茨城産主力の入荷。 作付は前年並。 作況は生育期の天候に恵まれ概ね順調。 入荷量は前年並を見込む。
	中	71	182						
	下	67	183						
	月計	189	185						
					その他	2			
さいも	上	1	479		茨城	43	A	保合	茨城・埼玉・千葉産中心の入荷。 作付は各産地とも前年並。 作況は生育順調、入荷量は前年並を見込む。
	中	2	436		埼玉	21	A	保合	
	下	5	260		千葉	17	A	保合	
	月計	8	331		中国	16	-	-	
					その他	3			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
き ゆ う り	上	164	322		北海道	92	C	保合	上川・空知・渡島・日高地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況は台風の影響もなく生育順調。 入荷量は前年並を見込む。
	中	165	492						
	下	121	481						
	月計	450	427						
					その他	8			
な す	上	39	448		高知	54	A	保合	高知・茨城産中心の入荷。 作付は各産地とも前年並。 高知の作況は生育順調、入荷量は平年並を見込む。 茨城の作況は台風18号の影響もありスレ果が多い。 入荷量は下級品が多いが平年並を見込む。
	中	49	550		茨城	40	C	保合	
	下	48	499						
	月計	136	503						
					その他	6			
ト マ ト	上	154	714		北海道	97	C	保合	日高・後志地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況は台風の影響もなく順調に生育。 入荷量は前年並を見込む。
	中	167	642						
	下	138	690						
	月計	459	681						
					その他	3			
(表の見方)					1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)				
					2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				



品目	前年の動き				10月の産地状況と概況見通し				
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
ピーマン	上	48	369		北海道	96	C	弱保	日高・上川・空知地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況は気温の低下、霜の影響を受けなければほぼ順調。 入荷量は前年並を見込む。
	中	52	502						
	下	41	527						
	月計	141	464						
					その他	4			
さやえんどう	上	2	1,860		北海道	87	C	保合	北海道産は石狩・上川地区中心の入荷。 作付は前年より減反。 作況は概ね順調だが、作付減反の影響により入荷量は前年より減少する見込み。 輸入物は中国産主力の入荷。 作付は前年並。作況は概ね順調。 入荷量は国産の状況次第だが、前年並の入荷を見込む。
	中	2	1,897		中国	10	A	保合	
	下	2	2,258						
	月計	6	2,005						
					その他	3			
生しいたけ	上	13	739		北海道	100	A	保合	石狩、胆振、根室、十勝地区を中心に道内一円からの入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況は概ね順調、入荷量は前年並を見込む。
	中	21	768						
	下	19	755						
	月計	53	756						
					その他				
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
な め こ	上	4	461		北海道	96	A	保合	上川、渡島地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 作況も順調で、入荷量は前年並の見込み。
	中	6	455						
	下	6	458						
	月計	16	458						
					その他	4			
え の き	上	17	289		北海道	95	A	保合	上川、網走地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年よりやや増反。 作況も順調で、入荷量は前年よりやや増加する見込み。
	中	21	297						
	下	23	291						
	月計	61	293						
					その他	5			
し め じ	上	14	564		北海道	77	B	強保	北海道産胆振地区主力の入荷。 作付は前年並。 作況も順調、入荷量も前年並を見込む。 長野産の販売については状況による。
	中	23	537		長野	23	-	-	
	下	19	635						
	月計	56	577						
					その他				
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き				10月の産地状況と概況見通し				
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
みかん	上	61	303		和歌山	74	A	保合	和歌山・佐賀産中心の入荷。 和歌山産は裏作となることから全体の生産量は前年を10～15%程度下回る見込みも極早生は前年並の生産量が見込まれる。 ピークは10月下旬となる見込み。 佐賀産極早生種の作況は前年並となるが生育期の天候の影響により小玉傾向となる見込み。S玉中心の入荷となる。
	中	223	278		佐賀	15	A	保合	
	下	389	271						
	月計	673	276						
					その他	11			
りんご	上	152	255		北海道	67	B	保合	北海道産は後志地区中心の入荷。 10月中旬ごろより早生ふじ、下旬ごろよりレッドゴールドの入荷予定。 前年よりも小玉傾向となる見込み。 府県産は青森産主力の入荷。 早生ふじ中心の販売。平年より若干小ぶりも着色は良い見通し。 入荷量は前年並の見通し。10月20日ごろまでの販売予定。
	中	241	260		青森	32	B	保合	
	下	286	237						
	月計	679	249						
					その他	1			
なし	上	131	225		新潟	49	A	保合	府県産は新潟産主力の入荷。 栽培面積は前年並。 上旬はあきづき、中旬ごろより新高が出荷予定。 北海道産は後志、留萌地区中心の入荷。 作況は平年より小玉傾向。L、M中心の玉流れ。 入荷量は前年並を見込む。
	中	143	215		北海道	40	A	弱保	
	下	120	268						
	月計	394	234						
					その他	11			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き				10月の産地状況と概況見通し				
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通し	
かき	上	289	281		和歌山	57	B	保合	和歌山・新潟産中心の入荷。 和歌山の作況は着果量多く、前年比1割程度増の生産予想であるが大玉だった前年に比べ小玉傾向で、刀根早生はL>2L>Mの玉流れとなる見込み。刀根早生のピークは10月上旬の見込み。 平核無は中旬以降より入荷となる見込み。 新潟の作況は着果量は前年を少し下回る見込み。小玉傾向。 着色の遅れが見られ、刀根早生は10月中旬より入荷の見込み。 刀根早生のピークは下旬からとなる見込み。
	中	289	244		新潟	28	B	保合	
	下	260	271						
	月計	838	265						
					その他	15			
キャンベル	上	14	385		北海道	100	B	保合	後志地区主力の入荷。 栽培面積は前年並。 ハウス物は房付良く、色づきも良い。L中心の房となっている。 入荷量は減ってきている。 露地物は6月、7月の天候の影響をあまり受けることなく育成が進んだ。
	中	6	387						
	下	7	360						
	月計	27	379						
					その他				
ナイガラ	上	16	354		北海道	100	B	保合	後志地区主力の入荷。 栽培面積は前年並。 ハウス物は6月、7月の天候もあり5～7日遅れた状態での出荷となっている。 入荷量は日々少量ながら増加しており、状態も良い。 露地物は6月、7月の天候により割れ、バラ房が多く出ている。 生食の出荷は減少する可能性がある。
	中	16	323						
	下	5	382						
	月計	37	344						
					その他				
					1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)				
					2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き							10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価	産地	構成比	出荷現況	価格見通	
巨峰	上	5	973	福島	96	B	保合	福島産主力の入荷。 栽培面積は前年並。作況は小玉傾向なので数量は多少減少する見込み。 10月下旬から冷蔵物の出荷に切り替わる。週3回の入荷予定。
	中	9	992					
	下	5	1,038					
	月計	19	999					
				その他	4			
くり	上	0	1,146	茨城	40	B	強保	茨城産主力の入荷。 入荷数量は前年より少なめの見通し。3L、2L中心の販売予定。
	中	1	507	北海道	39	-	-	
	下	1	1,110	高知	19	-	-	
	月計	2	809					
				その他	2			
メロン	上	134	349	北海道	99	C	保合	後志・上川・空知・胆振地区中心の入荷。 栽培面積は各地区とも前年並。 作況は平年並。入荷量は前年並の入荷を見込む。
	中	124	424					
	下	53	499					
	月計	311	404					
				その他	1			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)				
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
キ ー ウ イ	上	12	509		ニュージーランド	96	C	保合	<p>ニュージーランド産主力の入荷。 サンゴールドは残量販売。 グリーンは大玉(22玉・25玉)中心の入荷は変わらず、小玉の割合は少ない。 グリーンのみのお入荷なので以前よりはやや小玉の数量も増加する見込み。</p>
	中	12	507						
	下	11	510						
	月計	35	509						
					その他	4			
バ ナ ナ	上	171	206		フィリピン	88	C	保合	<p>フィリピン・エクアドル産中心の入荷。 各産地とも入荷量は順調の見込み。</p>
	中	204	208		エクアドル	12	C	保合	
	下	247	186						
	月計	622	199						
					その他				
バ イ ン	上	20	236		フィリピン	98	C	保合	<p>フィリピン産主力の入荷。 入荷量は先月に引き続き少ない見込み。 特に7玉サイズの数量が極端に少ない為に引き合いは強い見込み。</p>
	中	24	267						
	下	31	231						
	月計	75	244						
					その他	2			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き				10月の産地状況と概況見通し				
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
レモン	上	10	312		チリ	87	C	保合	チリ産主力の販売。 入荷は9月で終了し残量販売となる。
	中	13	250						
	下	11	341						
	月計	34	298						
					その他	13			
グレープ	上	9	216		南アフリカ	68	C	保合	南アフリカ・オーストラリア産中心の販売。 南アフリカ産は入荷は終了。残量販売となる。 ルビーの45玉以下は終了。大玉は残る見込み。 オーストラリア産は10月2～3週目の入荷の見込み。 ルビー中心となる。
	中	15	162		オーストラリア	25	A	保合	
	下	10	203						
	月計	34	188						
					その他	7			
オレンジ	上	14	196		南アフリカ	63	C	保合	南アフリカ・オーストラリア産中心の販売。 南アフリカ産は9月で入荷終了。残量販売となるが前年よりは少ない見込み。 オーストラリア産はネーブルの入荷は順調。 バレンシアは10月後半からの入荷見込み。 10月より関税が上がるため価格はやや高めとなる。
	中	17	179		オーストラリア	36	B	強保	
	下	14	205						
	月計	45	192						
					その他	1			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					